

なとり市議会だより

2023.5.1 No.182 令和5年2月定例会の内容をわかりやすくお伝えします。



CONTENTS

- 議員が聞いたこんなこと…………… P2
- 個人情報の保護の強化が進められます…………… P9
- 税金の使い道をチェックしました…………… P10
- N-WATCH(エヌ・ウオッチ)…………… P16

令和5年1月19日、増田中学校区地域学校協働本部主催により、増田中学校で生徒と市議会議員・教育委員等の交流会が行われました。「地域を知る学習」に、議会からは地元議員4名が派遣されました。

議員が聞いた

こんなこと

一般質問

一般質問とは

皆さんの生活に関わる大切な内容について市議会議員が市に対して質問を行います。2月定例会では、12人の議員から25項目の質問がありました。

一般質問を含めた本会議の内容は、録画でも配信しています。市ホームページの「議会中継」から御覧ください。



福祉

避難行動要支援者の個別避難計画の策定状況と課題は



斎 浩美

Q 医療的ケア児や障がい児者及び高齢者など、避難行動要支援者の個別避難計画の策定状況と課題は。

A 個別避難計画には、一人一人の置かれている状況が異なる避難行動要支援者について、支援者や避難経路等を記載することになる。しかし、その支援者が、いつでも支援できるか分からないことや、災害の種類や発災時期、時間によっても状況が変わることなど、計画策定には多くの課題がある。このため、現時点では現状把握にとどまっており、まだ策定には至っていない。

で作成に取り組むことになっており、早急に策定する必要がある。

現時点で具体的な策定手法やスケジュール等は未定だが、早急に課題を整理し、優先度の高い避難行動要支援者から、また、地域の協力が得られた地区からなど、順次策定していきたい。

Q 個別避難計画を早急に策定すべき。

A 令和3年の災害対策基本法等の一部改正により、個別避難計画は、地域の実情に応じて優先度の高い方について、おおむね5年程度

質問した内容

- 1 県営住宅等の集約に伴う移転支援の方針(中間案)
- 2 共生社会における公共施設の多機能トイレ
- 3 避難行動要支援者の防災の課題

感染症対策

新型コロナウイルス感染症の5類への移行による市の対応は



波 森 直樹

現在、新型コロナウイルスに係る個人向けの支援策として、

国民健康保険税や介護保険料、後期高齢者医療保険料の減免等があるが、4月以降の対応は。また、市民への周知は。

国から各保険料等の財政支援期間の終期が示された。国の支援に合わせ期間を延長してきた経緯があるため、

国の支援終了に合わせ、各経済的支援等を終了する。市民へは、詳細が固まり次第、速やかに市ホームページ等でお知らせする。

5類への方針転換の通知が来ても、学校や各施設等から、これまでどおりの対応を求められた場合、アルコール消毒等の感染対策に係る経費負担を続けるべき。

可能な限り対応したい。感染状況や国の動向等を見て調整・検討する。

医療機関への財政措置と、医療費の公費負担の継続を全国市長会を通じて国に要

望すべき。

当面、医療体制や感染対策等は、現状の対策を継続していく必要がある。全国市長会等の機会を捉えて、

国に要望していく。

5類に移行してもウイルスの性質が変化するわけではない。今後も、感染対策が必要であることを広報紙等で市民に周知すべき。

基本的な感染対策はもとより、新型コロナウイルスの特徴に応じた対策として必要な情報を適宜発信していく。

質問した内容
1 新型コロナウイルス感染症の5類への移行による市の対応



防犯

特殊詐欺被害防止機能付電話機購入費を助成すべき



和子 蓆原

令和4年の県における特殊詐欺の被害状況は、認知件数は323件で、前年より43件増えている。被害金額については約5億526万円に上り、前年より約6542万円増えている。本市の被害状況は。

令和4年1月から12月までの暫定値として18件、被害金額は1843万円となっている。

県内では、仙台市を除くと本市が一番多い被害件数である。被害を未然に防ぐための取組について伺う。

広報などとりや市ホームページ、電子案内板や高齢者サロンでの出前講座、また新聞折込チラシを年2回配布し注意喚起している。

手口の巧妙化、多様化が進んでおり、個人で見抜くのは困難である。犯人からの電話を直接受けない環境づくりが重要であり、市民の財産を守る最善の対策として、特殊詐欺被害防止機能付電話機等の購入費を助成すべき。

特殊詐欺被害防止機能付電話機の購入費を助成すべき。

質問した内容
1 地域共生社会を目指して
2 特殊詐欺に対する取組



特殊詐欺被害防止機能付電話機等の購入費を助成すべき。

感染症
対策

ワクチンによる健康被害の 相談体制をつくるべき



大友 康信

Q 令和5年1月末までの接種人数について伺う。

A 延べ人数は、22万9527人である。

Q 予防接種後健康被害救済制度のうち、新型コロナウイルスに係る令和4年度の申請件数と認定件数は。

AQA 申請は現在のところない。申請や相談の窓口は、保健センターと新型コロナウイルスワクチン接種対策室である。

Q ワクチン接種による健康被害の相談や救済制度及び診療先の案内について、より市民に寄り添う対応ができるよう体制をつくるべき。

A 相談を受けた場合は、症状などの現状を聞き取り、該当すると思われる診療科の受診や県が設置運営する副反応相談センターを案内するなどの対応をしている。また、健康被害により生活や仕事に支障がある場合は、健康被害救済制度の概要や申請方法も説明している。

Q ワクチン接種の効果とリスクについて、十分な説明が市民に届いているとは思えない。特に、未成年者接種の判断は、より慎重にするようにと周知すべき。

A 接種案内には、ワクチンの特徴や効果、安全性や副反応などについて最新情報の説明書を同封して判断してもらおうようにしている。未成年者に対しては保護者同伴の協力をお願いし、また接種後に副反応が起きる可能性があることをお知らせしている。今後も積極的な情報発信に取り組みたい。

質問した内容
1 新型コロナウイルス接種
2 新型コロナウイルス感染症の5類への移行

安全

市道の整備安全対策を 早急にすべき



郷内 良治

Q 市道増田野田線は車道路肩部に沈下が見られ、特に夜間の自転車や歩行者の通行には危険が伴う。車道路肩部の沈下対策を講ずるべき。

A 県立がんセンター南側入り口から西側市道野田線の交差点に至る区間において、田んぼ側の車道路肩部が連続的に沈下している。自転車等の通行に支障が生じていることは認識している。今後は、沈下の状況を詳細に調査し、令和5年度内に路肩部を含め舗装修繕を実施し、自転車等の通行に支障が出ないよう対策を図る。

Q 市道上平西六軒線は陥没箇所が見受けられ、自動車等の運転に支障を来している。道路舗装により全面整備すべき。

A 市道上平西六軒線は、主要地方道仙台岩沼線との交差点から東側の500メートル間に陥没箇所が多い。さらに、東側区間は舗装の亀裂

が多い。当該路線の今後の道路舗装補修は、路面のひび割れ状況や平坦性等の詳細な調査を行い、計画的に舗装補修を実施する。

Q 県道仙台岩沼線と市道上平西六軒線の交差点に信号機設置の要請をすべき。

A 当該交差点は、県道仙台岩沼線の交通量が多く、東西方向の横断が難しい状況である。一方、警察庁の信号機設置の指針の条件に合わないことが課題だが、住民からの意見・要望等を確認し、適切に判断したい。

質問した内容
1 農政問題
2 市道の整備安全対策



教 育

不登校の子供の居場所づくり に農業体験や食の取組を



板橋 美保

Q 本市の不登校の子供の居場所づくりの取組は。

A 子どもの心のケアハウスはなもも教室の運営、4つの中学校における不登校等児童生徒学び支援教室充実事業に取り組んでいる。それ以外の学校でも、独自に別室登校のための部屋を準備している。子供一人一人と向き合い、寄り添い、安心できる居場所をつくり、社会的自立や学校復帰に向けた支援をしている。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、訪問指導員など、各関係機関と連携し、不登校支援に取り組んでいる。

Q 不登校の子供の居場所づくりとして、はなもも教室などで農業体験や食の取組をすべき。

A はなもも教室では、年間を通じた農業体験や遠足、習字や生け花教室など多くの体験学習を行っている。農業体験としては、はなもも



も教室の隣の畑をお借りして野菜を作っている。収穫した野菜を用いた芋煮会をしたり、季節に応じたお菓子作りなどのイベントを行い、食育も踏まえた活動を多く取り入れている。体験を通じた楽しい時間を多く持つことで、一人一人の安心感や自己肯定感を高める支援を行っている。

- 質問した内容
- 1 高館河川グラウンドのトイレ
 - 2 市道八ツ口前線の整備
 - 3 不登校の子供の居場所づくり

環 境

樽水ダムと川内沢ダムを 生かした里山振興を図るべき



大久保 主計

Q ダムを生かした里山振興は、市や県、地域や社会資源との連携を築いて、チーム里山での横断的な連携の仕組みづくりが必要。樽水ダムと川内沢ダムを生かした里山振興策を、関係者との連携を構築しながら取り組むべき。

A 川内沢ダムが建設中であり、周辺整備も済んでいないので検討はしていないが、策定する際は、地権者や地元の見解、要望を伺い、県や関係者と連携して進めたことを考えている。

Q 樽水ダムの公園やトイレ等の環境整備の課題は何か。

A 老朽化が進んでいるので、修理等に取り組んでいる。

Q 川内沢ダムの環境整備について、県とどのように調整しているか。

A ダムの周辺整備については確定的なことはない。

Q 川内沢ダムは、市民が憩える場所としての要望をまとめ、今から県と調整すべ

き。また、地元の見解に加え、若い方のアイデアを取り入れるため、大学と連携をしてはどうか。

A 将来を担う若者の意見はまちづくりにも生かしており、里山再生も機会を捉えて取り入れていきたい。

Q 里山が持つ様々な機能から、横断的な仕組みづくりの工夫が必要ではないか。

A 庁内では、横断的で柔軟性のある視点で、庁外では、官民連携、地域や若者の協力も得ながら、どう練り上げて枠組みをつくるかが重要である。

- 質問した内容
- 1 観光と地域公共交通の連携
 - 2 ダムを生かした里山振興



安全

歩行者自転車用防護柵に 安全対策を



吉田 良

Q 増田川に架かる大手橋の歩行者自転車用防護柵について、破損から現在に至る経過と復旧の見通しは。

A 令和4年2月16日に車両衝突事故が発生し、復旧方法について原因者代理人と打合せを重ね、11月に合意に至った。原因者にて材料の手配や工事業者の選定等を行い、復旧工事は着手済みである。

Q 復旧の交換部分は隙間がかなり開いた形状で、子供は通り抜けてしまいそうだが、了としたのか。

A 業者との打合せとは違うものが設置されており、今後、原因者側の負担でやり直しの工事を行う。

AQ ミスを防げなかったのか。今後は材料承諾を正式に求め、取り組んでいく。

Q 市が管理する歩行者自転車用防護柵のうち、現在の設置基準の高さに満たない箇所数は。

A 大手橋を含め10か所ある。

Q 歩行者の往来が多い箇所を優先的に、安全性向上を図るべき。

A 5年ごとの橋梁定期点検の結果、修繕が必要な橋梁から交換などを行っている。歩行者の往来等を加味して優先箇所を決定し、安全性の向上に努めていく。

Q 今後修繕を計画している防護柵はあるのか。

A 修繕は橋梁について緊急度の高いものから重点的に取り組んでおり、防護柵のみの修繕計画は決まっていない。

質問した内容

- 1 歩行者自転車用防護柵
- 2 名取市民憲章
- 3 生徒指導提要の改訂を受けた取組



公園

公園等愛護協力団体の実態を 把握し制度改革すべき



長南 良彦

Q 公園等愛護協力報償金の算定基準と作業時期等の運用規定は。

A 算定基準は、一公園につき年間基本額に面積割額を加算している。活動内容は、樹木・草花の愛護、除草及び清掃等で、時期・回数等は協力団体の方針に任せ、毎年1月に報告書を提出いただいている。

Q 協力団体の高齢化等で維持管理作業が負担となり、外部業者に委託し委託料の赤字額を町内会費から充当している実態がある。市は現状をどのように把握しているか。

A コロナ禍において、一部の協力団体が除草を外部に委託したと聞いたが委託金額等の詳細は把握していない。

Q 本来、町内会費は会員相互の交流や親睦を目的とした事業に充てるべきである。実態の把握に努め、現状に見合った報償金の支給や制

A 制度改革を図るべき。

A 実態を確認し互助関係の構築に努めたい。

Q 協力団体から聞き取りしたところ、一部の団体では年2回外部業者に委託し約23万4千円支払い、報償金との差額17万円は町内会費から充当していた。このような実態をどう受け止め、対応するか。

A 公園の管理責任は市にあり、協力団体に委託しているわけではないことから、改善方法を検討したい。

質問した内容

- 1 市内の都市公園の維持管理
- 2 なとりん号の運賃見直し



宮宅
公住

市営住宅の共益費は家賃と一緒に市で徴収する仕組みに



菊地 昌夫

Q 小豆島団地自治会から令和4年1月、共益費を各自の口座から引き落とす方法を求める要望書が提出された。この件に対し明確な回答に至っていない。どのように対応するのか。

A 自治会での徴収が困難なため、昨年共益費の電気代が滞納となったことが判明した。滞納による電気の供給停止期限が迫ったことから、市と県住宅供給公社が各戸訪問により集金したことで、電力供給の停止を回避したという経緯がある。このことを踏まえ、家賃と共益費について、令和6年度を目的に一体的な徴収を図っていきたい。

Q 共益費は家賃と一緒に自動引き落とし等、各自支払いができる仕組みにすべき。

A 高齢化などの理由により、共益費の徴収が難しい団地については家賃と一体的に徴収することができるとの仕組みを検討する。

Q 令和4年9月の募集案内書から、共益費については「集金及び管理については各団地の自治会で行っており」との文言が新たに加えられた。市営住宅の入居者による共益費徴収が困難との訴えがある状況で、この

訴えがある状況で、この

文言を入れることは不適当であり、削除すべき。

A 既に令和5年3月の募集案内から変更しているが、今後、さらに良い表現の在り方について検討していきたい。

Q 共益費は家賃と一緒に自動引き落とし等、各自支払いができる仕組みにすべき。

A 高齢化などの理由により、共益費の徴収が難しい団地については家賃と一体的に徴収することができるとの仕組みを検討する。

質問した内容
1 市営住宅における共益費の徴収
2 森林保全事業



スポーツ

スポーツに親しむきっかけづくりと環境整備が必要



荒川 洋平

Q 社会体育団体数の推移は。平成29・30年度が220団体、令和元・2年度が228団体、令和3・4年度が令和5年1月末で231団体である。

A 令和3年度の施設利用で屋外施設が1386件、屋内施設が4386件である。各施設とも最大限に活用いただいている。

Q 市内の学校体育施設の利用状況は。

A 令和3年度の施設利用で屋外施設が1386件、屋内施設が4386件である。各施設とも最大限に活用いただいている。

Q 市民がスポーツに親しむためのきっかけづくりと、環境整備が必要と考えるがどうか。

A 教育委員会と連携して取り組む。

A イベント等の開催や、名取市スポーツ協会等と連携し、スポーツ教室等の開催を今後も充実させたい。環境整備も今後考えたい。

Q 学校開放業務は教職員が行っているが負担が大きい。指定管理者制度や業務委託、併せてICTを活用した予

併せてICTを活用した予

約システムの導入を検討すべき。

A 教育委員会と研究していきたい。

QA 調査研究していきたい。今後、維持管理コストが増大することが予想される。対策として、受益者負担の考えから利用料の徴収としてはどうか。

A 教育委員会と研究していきたい。

A 部活動の地域移行と併せて研究していきたい。

Q 社会体育団体の登録資格の条件を緩和し、多くの団体の利用を促すべき。

A 調査・研究していきたい。

質問した内容
1 スポーツの振興





小野寺 美穂

Q スポーツ界の暴力やパワハラ問題が後を絶たない。市内中学校の部活動やスポーツ少年団における実態は。

A 部活動では、平成31年3月に「名取市立中学校・義務教育学校部活動の方針及び部活動指導の手引」をまとめ、生徒の人格を傷つける言動や体罰は、いかなる場合も許されないことを示した。しかし、不適切な指導が見られ、指導をしてきている。スポーツ少年団においても相談がある。スポーツ少年団の指導者となるには公益財団法人日本スポーツ協会日本スポーツ少年団が主催する講習会を受講する必要がある。その中で、暴力やパワハラ等を禁じる理念を学ぶとともに、令和4年7月より、子供のための相談窓口Webサイトが開設されている。

Q 部活動の地域移行への対応が見直されることとなったが、学校の関与が薄くな

ることで、暴力やパワハラ問題の懸念材料が増えるのではないかと。対応の検討をすべき。

A スポーツ団体や指導者等と学校の連携・協働が十分ではないことが課題である。社会体育への移行を進めるべきだが、部活動は教員が生徒の状況を把握し、健全な育成のために重要な位置を占めてきた。指導する団体や指導者と緊密な連携を図り、生徒の状況を把握し指導できる体制の構築が必要と考えている。

質問した内容

- 1 生活困窮者支援
- 2 部活動と暴力と地域移行



● 2月定例会 議案審議 ●

名取市の
こんなことが決まりました

2月定例会 会期 2月20日～3月16日

| | |
|-----------|------------|
| 2月定例会の議案は | |
| 市長提出議案 | |
| 条例 | 11件 |
| 新年度予算 | 10件 |
| 補正予算 | 10件 |
| 同意 | 2件 |
| 議決案 | 9件 |
| 議員提出議案 | |
| 条例 | 1件 |
| 意見書 | 1件 |
| 計 | 44件 |

提出された議案の概要は、市議会ホームページの「議案の概要と審議結果」を御覧ください。



Pick up 1

個人情報の保護の強化が進められます

デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律が制定され、個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴い、本市における個人情報の適切な取扱いのため、必要な事項について規定します。

こんな質疑がありました

Q 現行条例ではそれぞれ責務が明文化されているが、新条例にはない。どう捉えればいいのか。

A 民間分野の個人情報の取扱いや、事業者等の義務等についても法律で規定されており、現行条例で規定していた努力義務より強い罰則が伴う義務規定が盛り込まれている。新条例は、法律の施行条例であり、法律とセットで考えた場合、現行条例から後退しているものではないと捉えている。

Q 法律自体が理念と食い違っているように感じるが、どう捉えているのか。

A 個人情報保護の安全管理等について、地方自治体や取扱事業者の責務等も法律で規定されていることから、強化されているものと捉えている。

Q 個人情報を守るための制度は。また、市民への説明は。

A 法第66条の安全管理措置で担保されていると捉えている。市民に十分な理解が得られるよう周知していきたい。

Pick up 2

市庁舎整備のための基金を設置します

市庁舎の整備に要する経費に充てるため、名取市市庁舎整備基金を設置し、基金の管理及び処分に関する必要な事項を定めます。

こんな質疑がありました

Q 整備の一環として部分的な改修は考えているのか。

A 市庁舎整備全般に対応するための基金と考えており、改修などにも活用したい。規模については定めていない。

Q 目標額や耐用年数も含めてスケジュールを立て、取り組むべきではないか。

A 他の自治体では、建築後65年から70年で建て替えを実施している。耐用年数を考慮し、20年ほどかけて、予算の範囲内で積み立てていきたいと考えている。

Q 市庁舎としての範囲はどこまでか。

A 市庁舎の範囲は、本庁舎や別棟の東棟、駐車場を含めて市庁舎と捉えている。



一般会計・特別会計・企業会計総額

566億6,642万円

市長から提出された令和5年度予算について、財務常任委員会において審査しました。

財務常任委員会では、一般会計歳入・一般会計歳出・特別会計・企業会計の全てを審査しました。

予算審査のスケジュール

| 日にち | 内容 |
|---------|----------------------------------|
| 3月7日(火) | 本会議(総括質疑) 財務常任委員会(一般会計歳入補足説明) |
| 8日(水) | 一般会計歳入 |
| 10日(金) | 一般会計歳出①(議会費～衛生費) |
| 13日(月) | 一般会計歳出②(労働費～土木費) |
| 14日(火) | 一般会計歳出③(消防費～予備費) |
| 15日(水) | 特別会計・企業会計 |
| 16日(木) | 本会議(採決) |

令和5年度 予算審査
税金の使い道を
チェックしました

財務常任委員会の内容は、録画でも配信しています。市ホームページの「議会中継」から御覧ください。



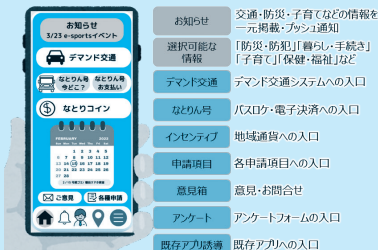
一般会計歳出①

情報発信プラットフォーム基盤構築事業に取り組みます

総務費では、情報発信プラットフォーム基盤構築・運用事業について質疑があり、プッシュ型の通知機能を備えたアプリケーションを制作すると説明がありました。

民生費では、基幹相談支援センター事業について、有資格者3人体制で6月からの運用開始を想定していると説明がありました。また、現時点における保育所入所予定人数について説明がありました。

衛生費では、子宮頸がん予防接種の取組について質疑があり、対象者は4686人を見込み、個別に通知していくと説明がありました。



一般会計歳入

市税は2年連続の増収が見込まれています

ウィズコロナ、物価高騰などへ対応しつつ、子育て支援の充実、デジタル化など多様な施策等が盛り込まれました。

市税全体では前年度比4.7%増で2年連続過去最高となる5億4千万円増、普通交付税は4億円の増、寄附金は3億円の減が見込まれ、様々な観点から質疑が行われました。

そのほかサイクルスポーツセンター使用料の目標利用人数の見直しで500万円の増を見込み、学校給食費実費徴収金は、中学生の無償化分と小学生の値上げ分を市が負担することについて説明がありました。



一般会計
歳出 ③

避難所に熱中症対策の 資機材を配備します

消防費では、手倉田出張所移転時の職員体制について質疑があり、今後検討すると説明がありました。また、機能別消防団員の確保について説明があり、避難所用資機材購入費については、熱中症対策として大型扇風機や瞬間冷却材等を予算措置したと説明がありました。

教育費では、校務支援システム運用支援委託料について質疑があり、導入について検証し全校へ拡大したい考えが示されました。また、令和5年度工事完了後のトイレ洋式化率は、市内小中義務教育学校全体で78%になると説明がありました。



一般会計
歳出 ②

ため池ハザードマップ を防災に活用します

農林水産業費では、既に住民や公民館に配布しているため池ハザードマップを、市ホームページの地図情報でも閲覧できるようにし、防災意識の向上につなげていくと説明がありました。

商工費では、ふるさと寄附金特産品取扱事業について質疑があり、令和5年度は7つのサイトで取り扱い、4億円の寄附金見込みに対し、手数料は6%から12%で、謝礼品は30%相当で考えていると説明がありました。

土木費では、浜街道線舗装補修工事について、市道門ノ目線から県道関上港線の延長670mの舗装打ち換えを予定していると説明がありました。



総括質疑 1

会派名 なとりグローバルネット未来 及川 秀一 議員

歳入で市税が大きく増となった理由は

- A Q** **市民税の個人分・法人分が増となった理由は、**
 収納率を98%から98.5%へ上げて算定した。また、個人分は所得金額と納税義務者数の増加を見込み、1億1008万8千円の増となった。法人分は法人数の増加と法人税割の増加を見込み、3889万7千円の増となったもの。
- A Q** **待機児童解消のため、企業主導型保育などの取組は、**
 定員の弾力化運用で定員を超えた受入れを行うほか、市内の企業主導型保育や幼稚園等の預かり保育の実施状況を周知し、認可保育所以外の様々な既存施設の活用で、行き場のない児童が生じないよう入所調整を行う。

特別会計
企業会計

国民健康保険税の調定 見込額の根拠は

国民健康保険特別会計では、国民健康保険税の調定見込額の算定根拠について説明がありました。

休日夜間急患センター特別会計では、使用料が令和4年度より大きく減となった理由について、コロナ禍の前と後の実績を見て計上したと説明がありました。

水道事業会計では、スマート水道メーター対応無線端末機の設置について、令和5年度は愛島台からスタートし、順次設置を進めていく考えが示されました。

介護保険特別会計では、介護認定者数の見込や訪問調査、認定審査会の方法について説明がありました。



総括質疑3

会派名 公明名取

菅原 和子 議員

基幹相談支援センターの業務内容は

- Q** 障がいのある方やその家族の相談に応じるとともに、地域の障害福祉に関する相談支援の中心的な役割を担う基幹相談支援センターの開設について、人員も含めどのような業務内容になるのか伺う。
- A** 職員体制は、相談支援専門員等の専門的有資格者を3名配置する体制を考えている。業務内容については、総合的・専門的な相談支援の実施、地域の相談支援体制の強化の取組、地域移行・地域定着の促進の取組、権利擁護・虐待の防止の取組、障がい者等地域づくり協議会の運営の5つの業務を委託する予定である。

総括質疑2

会派名 名和会

板橋 美保 議員

スマートストア運用事業の取組は

- Q** 寄附金を減と見込む理由と、減少幅を抑える取組は。
- A** 返礼品の主力であったビールの製造終了とカメラの在庫終了により、寄附金額が大幅に減ると見込んだ。減少幅を抑える取組としては、製造開始予定のサワーやカクテル等、アルコール飲料等を新たな返礼品として提供できるように働きかけていくとともに、PRする。
- Q** 買い物・移動困難者への支援策として実施する、スマートストア運用事業とは。
- A** スマホにダウンロードした専用アプリを利用し、入店から商品選択、決済までを完結させる無人店舗で、DX推進事業の一つとして令和5年10月頃に試験的に導入する予定である。

総括質疑5

会派名 青雲倶楽部

熊谷 克彦 議員

子育て支援拠点サテライト事業の内容は

- Q** 防災行政無線の更新内容及び機器の点検方法は。
- A** 聞こえやすい放送となるよう屋外子局スピーカーの機能強化を2か年で実施する。令和5年度は親局設備や各公民館などに設置している屋外子局のうち3局を更新する。市職員による毎朝の点検を更新後も行う。
- Q** 子育て支援拠点施設のサテライトとして、公民館や集会所等を会場に事業を実施する内容は。
- A** 子育て世代に対する不安感の解消等を目的に各地域へ出向き実施する。月に1回から2回、半日程度、乳幼児に対する絵本の読み聞かせやふれあい遊び、育児に関する相談の場を巡回しながら提供する。

総括質疑4

会派名 日本共産党議員団

齋 浩美 議員

医療的ケア児支援事業の取組は

- Q** 医療的ケア児支援事業で、協力可能な訪問看護事業所や児童通所事業所を増やす取組は。また、事例の蓄積の進め方は。
- A** 宮城県医療的ケア児等相談支援センター（ちるふあ）と連携し、医療的ケア児への理解を深める研修会の開催や、市内の訪問看護事業所等へ伺い、事業説明を行うなど、受入先の拡充を図る。
- 令和4年度の実績は1名だが、事業を利用していらっしゃる方や事業所から現状と課題を伺いながら、事例の蓄積を進める。

総括質疑7

会派名 創政会

荒川 洋平 議員

DXの推進に向けた取組は

- Q** DX推進に向け、デジタル田園都市国家構想推進交付金をどう活用し予算編成したのか。
- A** 公共交通対策事業や、地域通貨システム基盤構築・運用事業などの財源として見込んでおり、本市のDXロードマップを具現化する基幹的な財源として活用している。
- Q** 関下植松線周辺道路検討業務について、対象とする道路は。
- A** 名取中央スマートインターチェンジ周辺地区において、新たな土地区画整理事業の機運が高まっていることから、市道関下植松線、飯野坂杉ヶ袋線、飯野坂線の3路線の道路予備設計を行う。

総括質疑6

会派名 明誠クラブ

大久保 主計 議員

ふるさと寄附金の使い道は何か

- Q** ふるさと寄附基金繰入金を財源とする事業は何か。
- A** 事業は60件で、充当額は3億7826万円である。主な事業は、消防署手倉田出張所移転改築事業、私立認可保育所施設整備費助成事業で充当後のふるさと寄附基金の残高は、11億8915万3千円となる。
- Q** 手話言語条例推進事業の内容と当事者団体との連携は。
- A** 手話奉仕員養成講座、はじめての手話教室や夏休み手話教室、映画「咲(え)む」の上映会や事業者向けの研修会を予定する。県聴覚障害者協会等の当事者団体と意見交換を行いながら、さらなる手話の普及に努めていく。

賛成

小野寺 美穂 議員

(一般会計)

国からの委託業務である自衛官募集事務では募集通知の受け取り拒否を希望する市民への対応をすべき。

医療的ケア児支援事業では、教育委員会とともに、県相談支援センター（ちるふあ）との連携や研修等で理解をさらに深めるべき。

新下増田児童センターの多目的トイレに、大型の介助ベッドの設置を求める。

被災者生活支援事業では、独居・高齢化が進む中、国や県に対してアウトリーチ型について要望すべき。

避難所用資機材等購入費として、熱中症対策の大型扇風機や瞬間冷却剤が措置されたこと、学校給食費において物価高騰による値上げ分は市が負担することについて評価する。

令和5年度 予算審査
討論

このような理由で、
賛成しました

賛成

荒川 洋平 議員

(一般会計)

扶助費が大幅に増額となるなど、財源不足が解消できていない。地域経済の動向に注視し、移住定住を促進し、寄附をしていただけるような魅力ある市であることをPRするなど、自主財源の確保に努めるべき。

総務費中の市庁舎整備基金積立金については庁舎整備の計画を作成し、示すことが必要と考える。

消防費について、令和5年度は新規採用がなく、退職が2人で、消防職員全体で101人となり、令和6年度には消防署手倉田出張所が移転する中においては、人員不足が懸念される。条例の改正も視野に入れ、適正な人員の配置を望む。

賛成

大友 康信 議員

(一般会計)

総務費では、デジタル技術を活用したデマンド公共交通の実証実験をはじめ、スマートストア運用事業や情報発信プラットフォームの構築など、地域DX事業の推進に期待する。中でも地域通貨システム基盤構築・運用事業の予算措置を評価する。

消防費では、消防職員の定数が充足率62%の現状は、安定した消防力の確保の観点から早期に改善されるべきである。

支出全体において、消耗品費、修繕費や委託料について、市が取引する小規模事業者・個人事業主、またシルバー人材センターの要望等を踏まえ、インボイス制度中止を市長会から訴えかけていただきたい。

審議結果

▶ 賛否が分かれたもの

※ ○は賛成、×は反対、欠は欠席

| 会議名 | 提出者 | 議案番号 | 件名 | 審議結果 | 議員名(議席番号順) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|-----|--------|---|------|------------|------|-----|------|------|------|-------|-----|------|-----|------|------|------|------|------|-------|------|------|-------|-------|
| | | | | | 菊地昌夫 | 熊谷克彦 | 笹森波 | 千葉栄幸 | 板橋美保 | 大泉徳子 | 大久保主計 | 齋浩美 | 菅原和子 | 吉田良 | 荒川洋平 | 大友康信 | 及川秀一 | 佐藤正博 | 長南良彦 | 小野寺美穂 | 郷内良治 | 丹野政喜 | 山田龍太郎 | 佐々木哲男 |
| 第1回定例会 | 市長 | 議案第11号 | 名取市個人情報の保護に関する法律施行条例 | 可決 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議員 | 議案第2号 | 名取市議会の個人情報の保護に関する条例 | 可決 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | - | 本市に立地する県立がんセンター、県立精神医療センターを含む4病院再編の基本合意に関する報道についてに係る緊急質問の動議 | 否決 | × | × | ○ | × | × | × | × | ○ | × | × | × | × | × | × | ○ | × | × | × | × | |

※地方自治法第116条の規定により、議長は表決に加わっておりません。

今期定例会において全会一致で可決した議案を含む、審議結果の一覧は、市議会ホームページの「議案の概要と審議結果」を御覧ください。



No.1

人事案件に同意しました

今期定例会には、4か件の人事案件が提案されました。

◎名取市固定資産評価審査委員会委員

(2月20日上程・同日原案同意)

橋内 貴之氏(美田園)

◎人権擁護委員候補者

(2月20日上程・同日原案可決)

郷内 知明氏(愛島郷)

小野 晴美氏(名取が丘)

◎農業委員会委員

(2月20日上程・同日原案同意)

今野 一忠氏(手倉田)

No.2

議員協議会(1月12日)

◎なとりスーパーキッズ育成事業について

子育て・教育先進地を目指す取組の一つとして、サイクルスポーツセンターを活用し、オリンピック級のスケートボード競技に出場できる子供たちの育成を図る事業の概要について説明がありました。

◎名取市地域公共交通計画について

公共交通全般において、なとりん号の運行体系見直しだけでは改善できない課題があるため、民間事業者も含めた本市公共交通の望ましい姿を明らかにするとともに、その実現に向けた施策等を取りまとめた地域公共交通計画案の概要について説明がありました。

No.3

議員協議会(2月3日)

◎なとりん号の見直し及びデマンド交通導入について

令和2年度から検討を実施してきた、乗合バス「なとりん号」の全面的な見直しについて、運行ルートやダイヤ、デマンド交通の利

用方法などの説明がありました。また、この内容に対する各地域からの意見等を踏まえて、令和5年10月から実証実験としての運行を開始する予定であるとの説明がありました。

No.4

議員提出議案(意見書)について

市議会では2月定例会において「医療的ケア児等の保育施設や学校等での生活における支援の充実と強化を求める意見書」を全会一致で修正可決し、内閣総理大臣等宛てに提出しました。

N WATCH

エヌ・ウオッチ



本部長 中沢 哲哉さん(中央)
コーディネーター 高橋 則子さん(右)
コーディネーター 大友 美枝さん(左)

今号の表紙の交流会を企画した、**増田中学校区地域学校協働本部**の皆さんからお話を伺いました。

活動を行う原動力・モットーは

子供たちのためや学校愛、地域愛が原動力となっています。当本部では一人で悩むのではなく、グループLINEで情報共有しながら、できる人ができることを、自分の役割として活動することをモットーとしています。

今回の取組と今後の活動は

中学1年生の総合学習「地域を知る学習」で市議会議員・教育委員等との交流会の橋渡しを行いました。今後も子供たちのため、学校と地域のかけ橋になる活動を、楽しみながら企画・実践していきたいと思っています。

令和5年6月定例会は、**6月8日(木)**開会予定です。

議会を読もう

名取市議会だよりは、2月、5月、8月、11月に発行しています。バックナンバーは、ホームページでも御覧いただけます。



議会を傍聴しよう

現在、新型コロナウイルスの感染拡大防止の御協力を頂いております。詳しくは、市議会ホームページで御確認いただくか、議会事務局へお問い合わせください。



会議録を読もう

本会議及び財務常任委員会等の会議録をインターネットで公開しています。詳細な議論の内容の確認に、ぜひ御活用ください。



議会を動画で見よう

本会議や議員協議会の模様をインターネットで中継(生中継・録画中継)しています。ぜひ御活用ください。

※スマートフォンやタブレット端末での視聴にも対応しています。



議会に参加しよう

議会に対して陳情等を提出することができます。陳情とは、特定の事項について議会などに実情を訴え、適切な措置を要望することです。

編集後記

委員 千葉 栄幸

次年度の当初予算を審査・決定する2月定例会では、令和5年度の当初予算を慎重に審査しました。

なとりん号の見直しとデマンド交通の実証実験運行、中学生の学校給食無償化、20歳から30歳代の移住・定住促進事業、情報発信プラットフォームや行政のデジタル化など、各種施策が有効に事業展開

されていくのか注視していきます。

新型コロナが5類感染症へ変更され、ウィズコロナを意識しつつマスクのない日常生活に戻っていきます。コロナ禍による疲弊に加え、戦争による物価高など逆風続きの昨今ですが、声を出し笑顔で生活できるよう共に頑張ってもらいましょう。



名取市議会の情報はこちらから

名取市議会

検索

